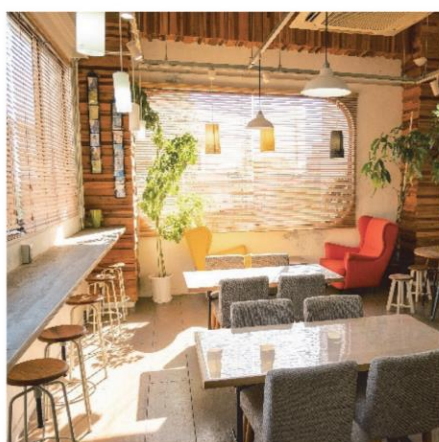
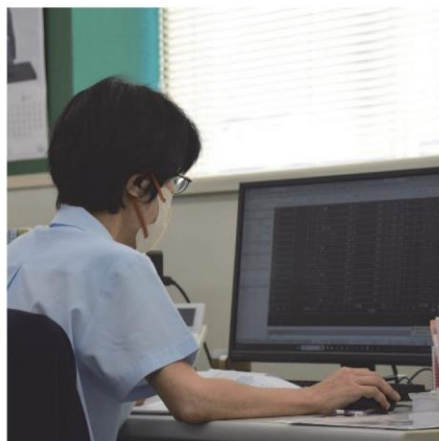
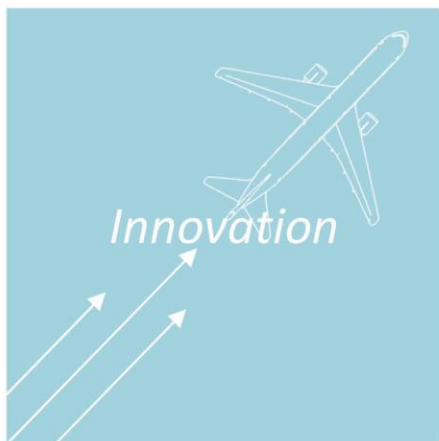




# 茨城県 経営革新計画 事例集

# 経営革新計画とは？

新商品の開発、新サービスの提供、  
新たな生産・販売方式の導入など、  
**新たな事業活動**に挑戦し、経営の  
向上を図るための計画。

経営革新計画があれば…

やるべきことが明確になる！



## 経営革新計画の申請をしよう！

経営革新計画を作成して県から承認を受けると、計画達成の支援策として  
**融資・信用保証等の優遇措置**を利用することができます！

※ 支援策の利用をする際には、各支援実施機関による別途審査が必要となります。

### 申請の要件

期間：事業期間 3～5 年

目標：付加価値額 or 一人当たりの付加価値額 年平均 3 % の向上  
給与支給総額 年平均 1.5 % の向上

#### 付加価値額・一人当たりの付加価値額

付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費

一人当たりの付加価値額 =  $\frac{\text{付加価値額}}{\text{従業員数}}$

#### 給与支給総額

給与支給総額 = 役員報酬 + 給料 + 賃金  
+ 賞与 + 各種手当



# 経営革新計画の効果

※ 承認企業330社による複数回答（令和5年度フォローアップ調査）

計画を立てる方法が  
わかった

52.4%

知名度・信用力が  
向上した

43.9%

金融機関への信用力が  
向上した

41.2%

宣伝・営業が  
行いやすくなった

39.7%

社内の意識が  
向上した

36.7%

新製品を開発する  
ことができた

35.8%

START!!  
01

## 課題抽出

まずは現状把握！  
どんな問題を  
抱えているか  
考えてみましょう。



02

## 戦略作り

「誰に」「何を」  
「どのように」  
アプローチするか  
明確にしましょう。



03

## 計画書作成

計画申請の要件や  
支援策を利用する場合の  
条件等を確認し  
計画を作成しましょう。



04

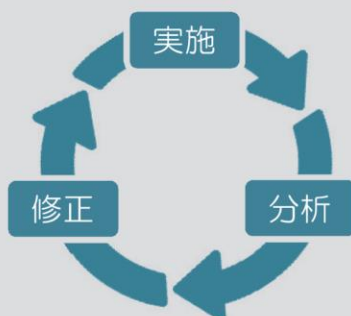
県へ申請  
・承認



05

## 計画の実施

承認を受けたら計画実施！  
分析・修正を重ねて、事業をより良くしましょう。



# 主な支援策

## 融資の優遇措置

### 設備投資や運転資金についての融資制度

#### 茨城県制度融資（新分野進出等支援融資）



問合せ窓口 茨城県産業戦略部産業政策課  
029-301-3530

#### 新事業活動促進資金



問合せ窓口 日本政策金融公庫（中小企業事業）  
水戸支店：029-231-4246

日本政策金融公庫（国民生活事業）  
水戸支店：0570-009857  
土浦支店：0570-012646  
日立支店：0570-012777



## 海外展開に伴う資金調達支援

### 資金借入の債務を保証する制度

#### スタンドバイ・クレジット制度



問合せ窓口 日本政策金融公庫(中小企業事業)  
水戸支店：029-231-4246

### 一部地域への進出資金についての融資制度

#### クロスボーダーローン制度



問合せ窓口 日本政策金融公庫(中小企業事業)  
水戸支店：029-231-4246



※ 計画策定の段階で、各支援機関に利用の条件等を確認してください。



## 信用保証の特例

一般保証と別枠で利用可能な保証制度

中小企業信用保険法の特例



問合せ窓口 茨城県信用保証協会  
029-224-7815

## 経営革新計画の申請をする方は…

茨城県中小企業課のホームページでは、経営革新計画承認制度や申請の詳細な情報を掲載しています。

申請される方は、必ずホームページで詳細をご確認ください。



茨城県 経営革新計画



## 事例の紹介

様々な創意工夫により経営の向上を果たした経営革新計画の取り組みについてご紹介します！

### -- 目次 --

|    |                         |    |
|----|-------------------------|----|
| 01 | 松田製茶【八千代町】              | 1  |
| 02 | 株式会社 福祉用具サービスもんちゃん【土浦市】 | 3  |
| 03 | 有限会社 平井自動車【境町】          | 5  |
| 04 | 株式会社 イイダモールド【筑西市】       | 7  |
| 05 | 有限会社 岡友機設【日立市】          | 9  |
| 06 | 株式会社 オアシス【つくば市】         | 11 |
| 07 | 株式会社 鉾田クレーン工事【鉾田市】      | 13 |

経営革新テーマ：  
菓子工房の建設による「茶葉食スイーツ」の内製化



## 経営革新に 取り組んだきっかけ

近年、日本茶離れと低価格化が課題となっており、当社では以前より茶葉をそのまま用いた「茶葉食」商品の開発を行っていましたが、更なる活用と差別化の必要性を感じていました。そんな状況下で依頼されたスイーツの試作を通じて、「茶葉食」フィナンシェのアイデアが生まれ、商品化に取り組みました。

## 具体的な取り組み内容

茶葉加工品の製造は外注する事業者が多いところ、当社では製造まで一貫して行えるよう、菓子工房を新たに建設しました。程よい口当たりを実現しながら、茶葉の風味を活かすため試作を重ね、3種類の「茶葉食」フィナンシェを完成させました。また、地元の農家と協力して、果物とお茶を組み合わせた

フィナンシェの製造にも取り組みました。

さらに当社ホームページでのネット販売や、展示会等での営業活動により、全国に販路を拡大しました。





## 取り組みの効果

贈答用の需要にあわせてギフト箱を新たに作成することで、「茶葉食」フィナンシェの販売数が増えていきました。フィナンシェと組み合わせて茶葉を購入する顧客も多く、全体としての売上も増加しています。

展示会への出展により、新たな取引が成立し、さらに業界の様々な情報を収集したことで、新事業にチャレンジするヒントを得られました。



猿島茶の茶畑

## 経営革新に 取り組んでよかったこと

自社や市場の分析と、数値計画の作成を行うことで、目標が可視化され、達成までの道のりを意識した事業実施が可能になりました。

また、経営革新計画を活用することで、持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金の採択を受け、商品パッケージの開発、急速冷凍機及びフリーズドライ設備の導入ができました。



補助金活用で  
導入した設備



自社製の猿島茶の販売と、茶葉を用いた食品の製造・販売を行う製茶業者。

アーチ型のパイプの上から遮光ネットを被せ茶葉の擦れを防ぐ、自社独自の「ブラックアーチ農法」により旨みや甘みを引き出した茶葉の生産を行う。

## 事業者コメント

フリーズドライ設備を利用して、フードロス食品の活用事業を開始しました。見た目が悪く廃棄される野菜や果物をフリーズドライ技術でパウダー化し、そのパウダーを用いたお茶製品の開発にチャレンジしたいと考えています。果物や野菜の生産販売を行う企業等からの委託も受け付けておりますので、興味がある方はご連絡ください。

## DATA

|        |   |                                                                 |
|--------|---|-----------------------------------------------------------------|
| 計画承認年月 | : | 令和2年3月                                                          |
| 計画期間   | : | 平成31年1月<br>～令和5年12月                                             |
| 支援機関   | : | 八千代町商工会                                                         |
| 所在地    | : | 八千代町                                                            |
| 業種     | : | 茶・コーヒー製造業<br>(清涼飲料を除く)                                          |
| 創業年    | : | 明治31年                                                           |
| TEL    | : | 0296-48-0174                                                    |
| 公式サイト  | : | <a href="https://matsuda-cha.com/">https://matsuda-cha.com/</a> |





# 株式会社 福祉用具サービスもんちゃん

経営革新テーマ：

3Dプリンタを駆使した福祉用具の修理・改良事業の展開による販路開拓



## 経営革新に 取り組んだきっかけ

福祉用具は高価で買い替えが難しく、また使い慣れた製品を使用したいユーザーも多いため、修理の需要が高まっています。従来は製造メーカーによる修理が主流で、細かいニーズに対応できる事業者が不足していました。そこで当社のものづくりの技術を活かした新たな事業を開始しました。

また、福祉用具の利用者から修理以外の利便性向上についてニーズがあり、3Dプリンタを用いたオーダーメイド品の開発を行っています。

## 具体的な取り組み内容

従来のメーカー修理では対応しきれないような、細かい修理や部品の交換を行うため、3Dプリンタを導入しました。これにより、生産が終了したパーツの修理や破損部分の単独交換が可能になり、メーカーを介さないことで迅速かつ低コストでの修理を実現しました。

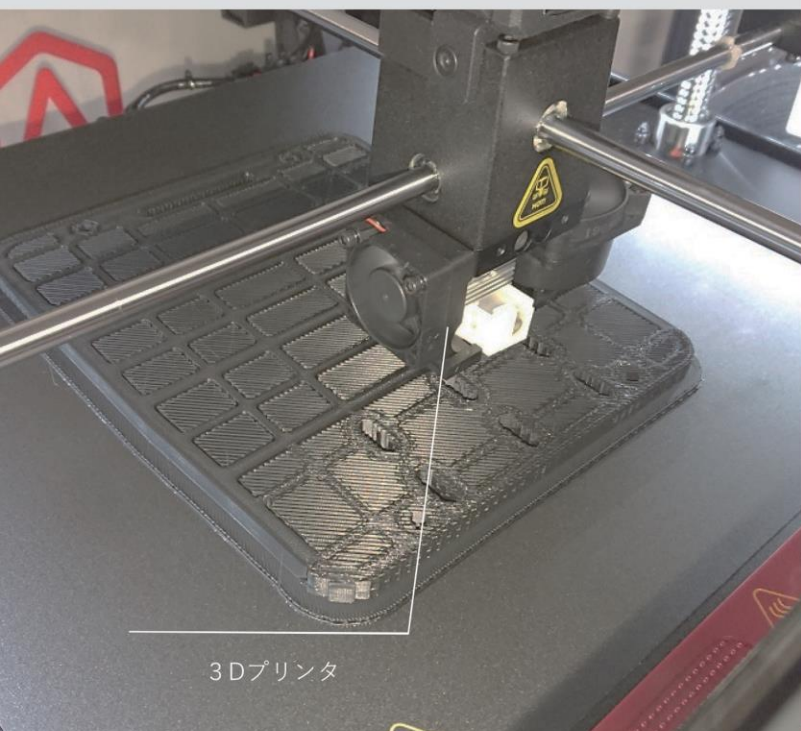




## 取り組みの効果

3Dプリンタを用いた試作品の作成により、個別具体的なニーズに応えた製品づくりや用具修理が可能になり、信頼性の高い製品開発に繋がりました。また、新たなニーズに対応して、工具等のカスタムパーツの販売も開始しました。

利用者に寄り添った取り組みにより、新たな受注が増えたほか、リピーターからの評判も良く、全体として売上も伸びています。



3Dプリンタ

## 経営革新に 取り組んでよかったこと

経営革新計画に取り組む中で、市場ニーズに対して自社が提供できる事業の可能性を見出すことができました。当社には元々設計や製造のノウハウがあったため、それを活かして、従来の事業の枠にとらわれない挑戦ができました。その結果、顧客のニーズに対する肌感覚が養われ、更なる事業拡大にも繋がっています。



看板が目印！



福祉用具の開発や修理、レンタル、中古車椅子や自主開発品の販売などを手掛ける製造業者。

経験豊富なエンジニアが、利用者の細かいニーズに寄り添い、福祉用具や職人向けの仕事道具等の開発やカスタマイズを行っている。

## 事業者コメント

自社で特許を取得している「意図しない後退を抑制する車椅子」の技術を、各種電動機等にも応用するため、更なる研究を進めています。この技術は車椅子だけでなく、常時負荷を支えるものが推力を喪失した際の安全装置としても役立つものです。

現在、技術試作と一緒に取り組む企業を募集していますので、興味がある方はご連絡ください。

## DATA

|        |   |                                                                                           |
|--------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 計画承認年月 | : | 令和元年11月                                                                                   |
| 計画期間   | : | 平成31年4月<br>～令和6年3月                                                                        |
| 支援機関   | : | 土浦商工会議所                                                                                   |
| 所在地    | : | 土浦市                                                                                       |
| 業種     | : | 他に分類されない<br>製造業                                                                           |
| 創業年    | : | 平成28年                                                                                     |
| TEL    | : | 029-828-2500                                                                              |
| 公式サイト  | : | <a href="https://www.welfare-tech-monchan.com/">https://www.welfare-tech-monchan.com/</a> |





# 有限会社 平井自動車

経営革新テーマ：

自社の钣金整備の技術を活かした先進安全自動車（ASV）の点検・調整設備の導入による新たな整備事業の開始



## 経営革新に 取り組んだきっかけ

先進安全自動車の普及が進む一方で、茨城県内にはその点検・整備に対応できる自動車整備工場が存在せず、各自動車メーカーの専用工場への外注が必要でした。この外注にかかる時間とコストを抑えたサービスを提供したいと考え、当社で先進安全自動車の整備を一括して行える体制構築に取り組みました。

## 具体的な取り組み内容

電子制御装置がついたパーツ等の整備を行った後に装置が正しく作動するか確認するエーミング作業を内製化するため、「特定整備認証」を取得し、併せて必要な機器を導入しました。また、エーミング作業の際に出る不具合を最小限に抑えるため、更なる技術の向上を目指し、積極的に社外講習へ参加してい

ます。

さらに、業界初の試みとして、顧客が実施作業を明確に把握できるように、整備が完了した際の証明書の発行を始めました。



整備後の検査場



## 取り組みの効果

エーミング作業の内製化により、先進安全自動車もワンストップで整備できるようになり、整備時間が短縮されました。さらに当社の高い钣金整備技術に加え、講習参加による更なる精度の向上により、スムーズな納車が可能になりました。

正確で迅速な仕事が事業者自体の評価に繋がり、リピーターの獲得や、整備以外の事業での売上増加に結び付いています。



## 経営革新に 取り組んでよかったこと

自社や市場の分析を行うことで、自社の強みを数値として明確にすることができました。その結果、サービスの説得力が増し、顧客からの信頼に繋がりました。

さらに経営革新計画の承認が、ものづくり補助金や事業再構築補助金の採択にもつながり、計画に基づき新たな設備を導入することができました。



検査中...



钣金塗装や自動車整備、新車・中古車販売を行う自動車整備・販売事業者。

豊富な経験に裏付けされた高い技術力を持ち、国内外全ての車種の整備を自社で対応する。整備技術を活かし、自動車購入後のアフターフォローも充実させている。

## 事業者コメント

钣金塗装や自動車整備、新車・中古車販売に加え、レンタカー事業を開始しました。また、自動車整備業界の深刻な人材不足に対応するため、若手人材の育成に積極的に取り組んでいます。新事業への挑戦や人材育成を行いながら、持続可能な魅力ある事業者を目指し、さらに自社だけでなく業界全体の発展にも貢献したいと考えています。

## DATA

|        |   |                                                                       |
|--------|---|-----------------------------------------------------------------------|
| 計画承認年月 | : | 令和2年2月                                                                |
| 計画期間   | : | 令和元年6月<br>～令和6年5月                                                     |
| 支援機関   | : | 境町商工会                                                                 |
| 所在地    | : | 境町                                                                    |
| 業種     | : | 自動車整備業                                                                |
| 創業年    | : | 昭和43年                                                                 |
| TEL    | : | 0280-87-0833                                                          |
| 公式サイト  | : | <a href="https://www.bodyshop.co.jp/">https://www.bodyshop.co.jp/</a> |



経営革新テーマ：  
樹脂梱包装置「FastCarry」の販路開拓



## 経営革新に 取り組んだきっかけ

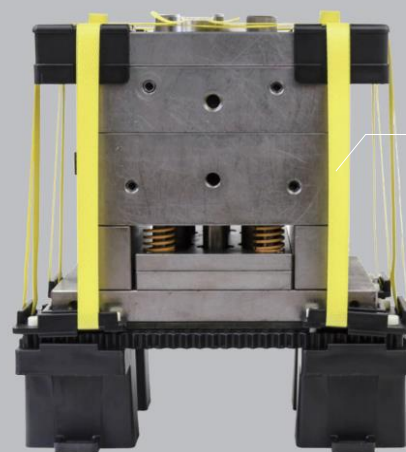
ベトナムでの金型工場の稼働開始以降、ベトナムから日本への金型輸出力は増加していましたが、その際に使用する木枠梱包材には過剰なコストがかかっていました。木枠の梱包材は重く、さらに梱包や荷ほどきに手間がかかるため、これらのデメリットを解消できる梱包材の開発に取り組みました。

## 具体的な取り組み内容

木枠梱包材の問題を解決するため、木材よりも加工がしやすく重量も軽い樹脂を活用した梱包材を開発しました。従来と比べ10分の1の重さであるため、輸送費を安く抑えられるだけでなく、自社で簡単に梱包や荷ほどきが可能になりました。また、樹脂の梱包材は繰り返し使用できるため、使い捨ての木枠梱

包材のように処分費用がかからず、さらに環境負荷も低減されました。

特許の取得後、木枠梱包材に代わる梱包材「FastCarry」として販売も開始しました。



Fast Carry



## 取り組みの効果

「FastCarry」が環境負荷の少ない製品として多数の賞を受賞し、メディアでも紹介されたことで、環境意識の高い事業者として認知されるようになりました。また、多くの製造事業者が企業向けに製品を販売する中、本製品は一般消費者にも販売したことで、B to Cの視点も持つ事業者として評価されました。

その結果、既存の業界内でも評価が上がり、金型製品の販路拡大にも繋がりました。



木枠梱包との比較

## 経営革新に 取り組んでよかったこと

データを数値化し、事業計画を明確にすることで、当社の強みや課題、業界内での立ち位置が可視化されました。その結果、方向性が定まった製品開発が可能になりました。

また、経営革新計画の承認を受けたことが、顧客からの信頼に繋がり、事業者自体の付加価値向上に寄与したと実感しています。



木材梱包材の  
デメリットを  
解消しました



「カタチある夢創り」をモットーに、金型の設計から製造まで一貫して行う金型製作・加工事業者。

国内外に複数の工場を有し、金型の製造や射出成形加工を行う。製造工程からブラッシュアップを重ねた、高品質な製品づくりが強み。

## 事業者コメント

現在、当社は国内外に5か所の拠点を持っていますが、今後はさらに海外進出を行い、ものづくりのグローバル化を進めていきたいと考えています。豊富な実績に裏付けされた自社の技術力と、海外の工場が持つ高い製造力を組み合わせて、従来よりも更に低価格かつ高品質な製品づくりを目指していきます。

## DATA

|        |   |                                                           |
|--------|---|-----------------------------------------------------------|
| 計画承認年月 | : | 令和2年6月                                                    |
| 計画期間   | : | 令和元年7月<br>～令和6年6月                                         |
| 支援機関   | : | 下館商工会議所                                                   |
| 所在地    | : | 筑西市                                                       |
| 業種     | : | その他の生産用機械・<br>同部分品製造業                                     |
| 創業年    | : | 平成7年                                                      |
| TEL    | : | 0296-22-7256                                              |
| 公式サイト  | : | <a href="https://iidamold.com/">https://iidamold.com/</a> |



経営革新テーマ：

自社で作成した機械図面に関するものづくり工程の取り込み



## 経営革新に 取り組んだきっかけ

従来の設計業務は、図面1枚当たりの金額に基づき価格が定められており、図面を完成させるための労力や付加価値が価格に反映されにくいと感じていました。そこで、設計業務だけでは適正な価格転嫁が望めないと感じ、事業承継に併せて経営革新に取り組みました。

「設計代行サービス」はその逆で、製造事業者に対して設計部分の業務を提供することで、製造事業者が設計と製造をセットで受注することができるようになりました。

## 具体的な取り組み内容

以前から設計と製造を併せて依頼されることがあったため、その需要に対応すべく「部品製造付き設計業務」と「設計代行サービス」に取り組みました。

「部品製造付き設計業務」では、設計と製造を同時に受注し、当社で製造の外注まで行うことで、ワンストップで設計から納品まで請け負うことができるようになりました。





## 取り組みの効果

製造事業が、総売上高の1割を超えるまでに成長しました。また、顧客や製造事業者との繋がりが強まったことで、設計から納品までの管理依頼を受けるようになりました。

さらに、ワンストップで受注することで、製品を作るために必要な作業が明確になり、作業にかかる労力や付加価値を適正に反映した価格交渉ができるようになりました。

### 経営理念

#### 経営理念

- 一つ、高品質の製品(図面)を提供し  
お客様の生産活動に貢献すること
- 一つ、技術の進歩・変化に対応できる  
技術者集団であること
- 一つ、新しいものに興味を示し挑戦する  
意欲を持ち続けること
- 一つ、地域貢献を考えた生産活動に邁進すること

有限会社 岡友機設

## 経営革新に 取り組んでよかったこと

経営革新計画に取り組むにあたり、市場を分析することで、顧客が求めるものと、それに対して自社が持つ可能性を知ることができました。

また、明確な数値計画を作成することで、次のステップが明確になり、新しい分野への挑戦意欲が高まりました。今ではこれが経営理念の一つになっています。



経営理念に基づき  
事業実施に  
取り組みます



「ものづくり」の基礎となる機械設計を基本業務とする設計事業者。

各種機械や火力・原子力関連機器の設計製作を行う。経験に基づく設計構築能力と技術力、応用力の高さが強み。

## 事業者コメント

当社では、一緒に働く新しい仲間を募集しています。

当社には経験に基づく高い技術力を持つ設計者が多く在籍しており、お客様のリピート率も高いです。さらに、テレワークの導入といった育児や介護との両立がしやすい制度作りのほか、ソフトを常に最新のものに更新するなど、制度面と設備面の両方で社員が働きやすい環境を整えています。

## DATA

|        |   |                                                                      |
|--------|---|----------------------------------------------------------------------|
| 計画承認年月 | : | 令和2年5月                                                               |
| 計画期間   | : | 令和元年9月<br>～令和6年8月                                                    |
| 支援機関   | : | 日立商工会議所                                                              |
| 所在地    | : | 日立市                                                                  |
| 業種     | : | 一般機械設計業                                                              |
| 創業年    | : | 昭和56年                                                                |
| TEL    | : | 0294-23-3187                                                         |
| 公式サイト  | : | <a href="https://e-okatomo.co.jp/">https://<br/>e-okatomo.co.jp/</a> |





# 株式会社 オアシス

経営革新テーマ：

小規模同業者との業務統括による企業共生型サービス提供システム



## 経営革新に 取り組んだきっかけ

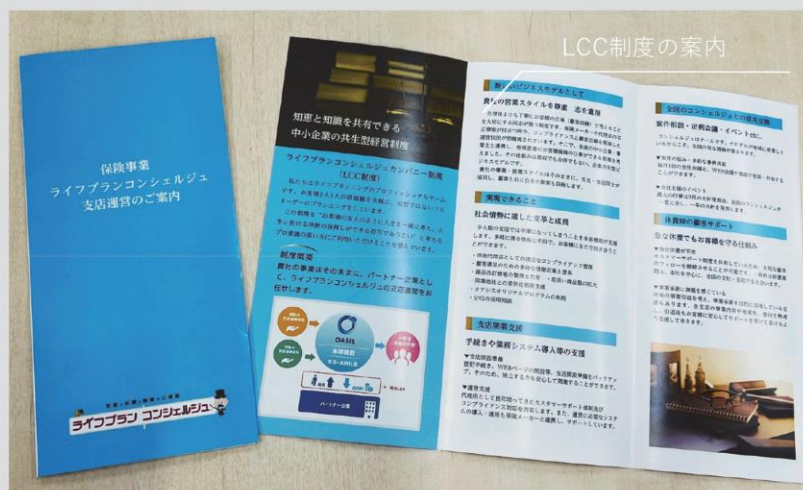
当社は即戦力かつ同じ価値観の人材を直接雇用してきましたが、近年、人材確保に苦戦していました。一方、業界全体では、法改正やコロナ禍の影響で小規模保険代理店が苦境に陥るなど、経営面で困難な状況に直面していました。そこで、当社の課題解決と業界振興のため、経営革新計画に取り組みました。

能)の活用により業務を効率化できるほか、当社から定期的な経営指導やコンプライアンス研修を受けることでサービスの質の向上が図られます。

## 具体的な取り組み内容

当社と全国の小規模保険代理店で業務提携ネットワークを構築するため、「ライフプラン コンシェルジュ カンパニー制度 (LCC制度)」を創設しました。

当該ネットワークに参加するパートナー企業では、当社独自開発のソフトウェア (顧客のライフプランを可視化し、適切な提案が可





## 取り組みの効果

全国各地で業務提携が進み、既に2つの実店舗、1つのサテライトオフィスが開設されたほか、新たに5店舗の開設が予定されています。全国にパートナー企業の拠点が広がったことで、各地からのリアルタイムな情報交換ができるようになりました。

全社で生産性が向上したことにより、社員の要望を反映した休暇制度の導入等、働き方改革を加速させることに繋がっています。



## 経営革新に 取り組んでよかったこと

自社や市場の分析を行い、「自社の強み」や「業界全体が抱える問題点」を把握することができました。その結果、強みを活かした適切なアプローチが可能になりました。経営革新計画の作成を通して分析力が向上し、より顧客のニーズに寄り添った新事業の展開が見込めるのではないかと感じています。



業界全体の  
問題解決に  
貢献します



「お客様の幸せを追求する」ことをモットーに、保険や住宅ローンを取り扱うライフプラン支援事業者。

人生設計を自社開発ソフトで見える化し、最適ナリスクマネジメントを提案する「ライフプラン コンシェルジュ」サービスを提供している。

## 事業者コメント

企業向けの福利厚生サービスの提供を開始しました。社員のライフプランを反映させた適切なキャリア形成のため、企業と社員の双方の橋渡しを行いながら、保険等のご提案を行っています。資産形成、相続、金融知識、教育などの幅広い悩みに対応しながら、お客様ひとりひとりが思い描く人生を実現に導いていきます。

## DATA

|        |   |                                                                             |
|--------|---|-----------------------------------------------------------------------------|
| 計画承認年月 | : | 令和2年7月                                                                      |
| 計画期間   | : | 令和元年9月<br>～令和6年8月                                                           |
| 支援機関   | : | —                                                                           |
| 所在地    | : | つくば市                                                                        |
| 業種     | : | ライフプラン支援業                                                                   |
| 創業年    | : | 平成17年                                                                       |
| TEL    | : | 029-875-8171                                                                |
| 公式サイト  | : | <a href="https://lifeplan-concierge.jp/">https://lifeplan-concierge.jp/</a> |





# 株式会社 鉾田クレーン工事

経営革新テーマ：

プランニングから撤収までの「一貫敷鉄板リースサービス」の提供



## 経営革新に 取り組んだきっかけ

通常、工事現場の地盤整地は、複数の事業者が工程ごとに分担して行っています。しかし事業者同士の連携が取れていないと地盤補強が不十分になり、重機等が転倒や脱輪する危険性がありました。当社ではこれをかねてより問題視しており、さらに現場からの要望も受け、経営革新計画に取り組みました。

事業を行っている当社にマッチしていました。

また、安全かつ迅速な作業実施のため、地盤整地で使用し歪曲した敷鉄板を平らにするプレス機を導入しました。

## 具体的な取り組み内容

安心適切な地盤整地のために、工事計画のプランニングから敷鉄板の敷設・溶接・撤去まで一括して当社で実施できるよう、設備投資を行いました。敷設工事の効率化のために導入したリフティングマグネット（鋼材等を磁力で吊り上げ搬送する設備）は、移動式クレーン免許で運転できたため、元々クレーン





## 取り組みの効果

地盤整地工事を一括化したことで、安全性の向上と業務効率化が図られました。以前は搬送作業に複数の人員が必要でしたが、設備投資後は単独での作業が可能になり、空いた人員を別業務に充てられるようになりました。

さらに、安全かつ確実な仕事が顧客からの信頼に繋がり、適切な安全管理に基づく価格提案が可能になったことで、売上高は5年間で2割以上伸びています。



敷鉄板撤去作業

## 経営革新に 取り組んでよかったこと

地盤整地工事の一括対応については、以前から社内でも必要性が指摘されており、現場からも対応を求める声があがっていましたが、なかなか事業に着手することができずにいました。経営革新計画作成のために、自社や市場の分析を行い、強みが明確になったおかげで、新事業に挑戦する一歩を踏み出すことができました。



安心安全な  
地盤整地工事を  
実現しました



移動式クレーンや敷鉄板リース及び運搬を基本業務とする建設業者。

重量物の荷下ろしや高所への荷上げ、敷鉄板の運搬・設置・撤去を行う。安心安全を第一に、豊富な経験と技術を活かしたサービスを提供している。

## 事業者コメント

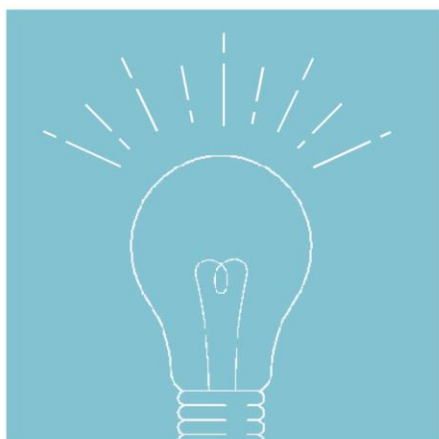
高所作業車やバックホー（整地・掘削・土砂運搬等を行う重機）、ホイールローダー（整地・土砂運搬等を行う重機）のレンタル事業の開始に向けて、準備を進めています。操作に不慣れな場合、実際に各種重機の操作ができるようになるまで、当社スタッフがサポートいたします。

令和7年9月からサービス開始予定ですので、是非ご利用ください。

## DATA

|        |   |                                                                             |
|--------|---|-----------------------------------------------------------------------------|
| 計画承認年月 | : | 令和2年3月                                                                      |
| 計画期間   | : | 令和元年10月<br>～令和6年9月                                                          |
| 支援機関   | : | 銚田市商工会                                                                      |
| 所在地    | : | 銚田市                                                                         |
| 業種     | : | 移動式クレーンリース<br>揚重業                                                           |
| 創業年    | : | 昭和57年                                                                       |
| TEL    | : | 0291-36-4355                                                                |
| 公式サイト  | : | <a href="https://www.hokotacrane.co.jp/">https://www.hokotacrane.co.jp/</a> |





経営革新計画の  
申請・お問い合わせ

## 茨城県産業戦略部中小企業課

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

TEL: 029-301-3550

FAX: 029-301-3569



令和7年3月発行